

ワーファリンの相互作用について

ワーファリンの作用に影響を及ぼす院内採用薬(内服薬)についてまとめてみました。

①ワーファリンの作用を増強させる薬剤	
薬効	併用薬剤
バルビツール酸系催眠鎮静剤	フェノバル
抗不整脈薬剤	アンカロン プロノン
高脂血症治療剤	リポバス
抗甲状腺剤	メルカゾール
甲状腺ホルモン製剤	チラーヂン、S
抗血小板剤	エパデール
	アンプラーグ
	パナルジン
	プレタール
	プロサイリン
オパールモン	
痛風治療剤	ユリノーム
代謝拮抗剤	UFT
	TS-1
乳癌治療剤	ノルバデックスD
セフェム系抗生物質	セフゾン
	セフспан
ペニシリン系抗生物質	オーグメンチン
マクロライド系抗生物質	エリスロシン
	クラリス
	ジスロマック
抗結核剤	イスコチン
ニューキノロン系抗生物質	バクシダール
サルファ剤	バクタ
抗真菌剤	イトリゾール
	ジフルカン
	フロリード
抗アレルギー剤	リザベン

②ワーファリンの作用を減弱させる薬剤	
薬効	併用薬剤
抗てんかん剤	テグレートール
抗結核剤	リファジン
骨粗鬆症用ビタミンK <sub>2</sub> 製剤	グラケー(ワーファリンとの併用は禁忌)

③ワーファリンの作用を増強または減弱させる薬剤	
薬効	併用薬剤
抗てんかん剤	アレビアチン  (投与初期は増強、長期投与で減弱。また、ワーファリンはアレビアチンの作用を増強させる。)
SU系経口血糖降下剤	ジアベン、ダオニール、グリミクロン  (初めは相互に作用を増強。併用を継続していくとワーファリンの作用は減弱するが、SU剤の作用は増強。)
代謝拮抗剤	ロイケリン